

第4回 報告書

- 1 日時 2025年2月2日(日) 午後1時30分～3時30分
(2024年9月29日開催予定でしたが延期となりました)
- 2 会場 水戸市国際交流センター 多目的ホール
- 3 参加人数 《27名》(中高生 1/一般 9/会員 17)
- 4 内容

(1) 茨城大学前学長で名誉教授、地球・地域環境共創機構特命教授の三村信男氏による、ワークショップ中心の学習会。世界各地で気候変動の影響等を調査してきたご経験に基づき、地球温暖化をめぐる世界の諸問題や最新の研究成果を示していただいた。また、参加者が「国連の気候変動対策担当者」「日本の環境省の担当者」「水戸市の市民」「途上国の住民」のグループに分かれ、それぞれの立場でそれぞれの希望や考えを述べるワークショップを行なった。知識を身に付けるばかりでなく、こうして多様なステークホルダーの考え方の違いに気付く学びの機会となった。最後に、環境保全に向けた中学生参加者の決意表明を聞くことができ、会場は感動と希望に包まれた。

(2) アンケートの主な内容

- ・環境教育については理論的ではなく環境に対し本能が呼応する幼児教育が必要だと思います。地球環境の変化に人間が追いつけない点を考えても面白いのでは。
- ・若い学生の取り組み方がよかった。
- ・気候についての知識を更新できました。ありがとうございました。
- ・みなさんの活発な議論の中で自分たちの身近なことに落とし込むことができ、本当によかった。

(3) 風景写真

